五行歌の会	きんきサロン通信６月号	発行:きんきサロン　代表・いぶやん 編集長・小倉はじめ No.025　2024.06.14

６月は紫陽花　宇治の名苑三室戸寺から！

６月は紫陽花をテーマにしようということで、編集長が三室戸寺の紫陽花の画像を撮ってきてくれました。当日はまだ三分咲きだったそうですが、ここには百種二万株の紫陽花が植えられていて、京都屈指の紫陽花の名所として知られています。あじさい園の開園は６月１日㈯～７月７日㈰で、６月８日から２３日まではライトアップされるそうです、ネット画像で見ましたが幻想的な光景にうっとりします。京都では他に、藤森神社の紫陽花も有名です。紫陽花の五行歌で思い浮かぶ作品はありませんでしたが、短歌を検索したら、次の二首がヒットしました。

昨日より色のかはれる紫陽花の瓶をへだてて二人かたらず（啄木）／紫陽花のその水いろのかなしみの滴るゆうべ蜩のなく（牧水）

紫陽花の魅力と不思議さは、なんといってもその色の変化でしょう。土壌によって青、紫、赤と色が変わります。これは土壌のpHの違いによるものらしいのですが、人も歌も、このように色々に咲き誇れればいいなあと思ったりします。

今回の１席は２首、５月のさわやかな風を前向きな気持ちで捕えた玉虫さん、燕の飛行をスラロームに喩えたいぶやん。２席はバラ園での懐旧の情が読者の心に染む HIKARIKO さん。３席は叙景歌で相変わらず好調を維持する黒田さん…でした。文治郎さん久しぶりにご参加でした！（いぶ記）

【307 回きんきサロン歌会結果】

１
ポンポコたぬきが
ダイエットをして
コンコンきつねになっても
あては油揚げ
やっぱり側には徳利が
　　坂東和代　次点 ７点

２
陽が射し
風が生まれ
葉っぱの上を
輝きが走る
そうだ、今日行こう
　　玉虫　　同一席 11 点

３
きょう用がある
きょう行くところがある
頑張っとるで
そう それはいい
くびを縦にふる彼岸の母
　　小倉はじめ ５点

4
バラ園に遊ぶ
同窓の友と
同じ歩幅で歩く
イングリッシュローズが
果てしなく続く道
HIKARIKO 9点 二席

5
風と舞う
庭先の
真っ赤なバラ
私を見てよと
情熱のラストダンス
西村康則 ＊

6
佐藤さん！
天気予報が
当たらなくても怒りません
貴方の打楽器演奏の
ファンだから
平村幸子 ＊

7
参道に等間隔に立つ
昇り旗の間を
スラロームして
競う
ツバメたち
いぶやん 同一席 11 点

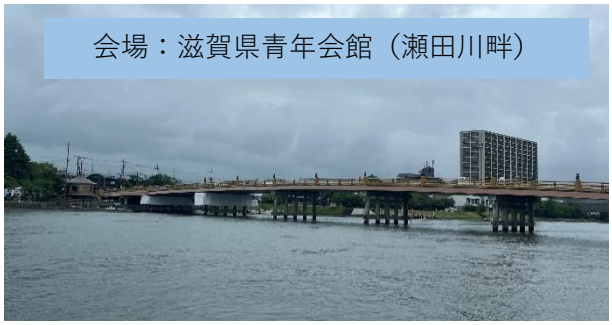
8
まばゆい緑の
実相院
初夏の風が
青もみじを揺らし
床を渡る
黒田節子 三席 8点

9
唐招提寺の
千手観音さんが
私に言う
九百九十九回
助けてるよあんた
文治郎 ＊

＊印は4点以下、点数非開示。

■（参加者：9名）いぶやん・小倉はじめ・黒田節子・玉虫・西村康則・HIKARIKO・坂東和代・平村幸子・文治郎
■7月7日例会は「七夕歌会」となります。詳細案内チラシ参照ください。

■7月例会 びわこ湖畔 七夕歌会です！



■日　時　7月7日（日）　10:00～17:00
■場　所　石山寺＆滋賀県青年会館
（ホテルアープしが）
大津市唐橋町 23-3　Tel:077-537-2753
■行　程　09:30　集合 JR 琵琶湖線石山駅南口
移動　タクシー等
10:00　第1部　石山寺
（ガイド付見学）
光る君へ 大河ドラマ館も
11:50　石山寺出発
移動　タクシー等
12:00　第 2 部　ホテルアープしが
昼食（ここから参加も可能）
13:00　歌会開始
16:00　歌会終了
移動　ホテル送迎バスで
16:20　解散　JR 石山駅
■参加費　歌会　1,500 円
昼食　3,000 円（飲み物別）
石山寺拝観料　600 円
■申　込　6月22日（土）歌一首・参加形態添えて、いぶやんまで。事前採点制。申し訳ございません。会場の関係で先着 20 名様まで。
メール：ibuki@mxr.mesh.ne.jp
（はじめ記）